

シンポジウム

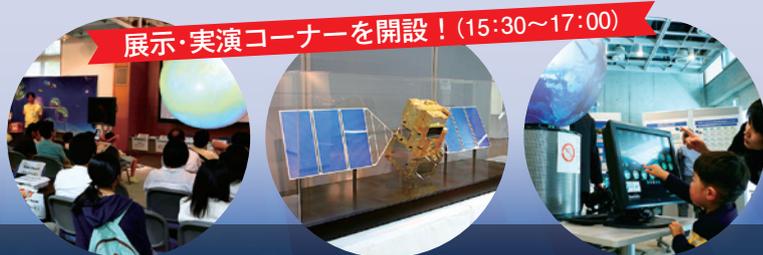
地球を見守る宇宙の眼

～温室効果ガス観測技術衛星「いぶき」の今とこれから～

温室効果ガス観測技術衛星「いぶき」(GOSAT)は、二酸化炭素やメタンといった温室効果ガスの観測を主目的とした世界初の人工衛星です。「いぶき」プロジェクトは、環境省、国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構(JAXA)、国立研究開発法人 国立環境研究所(NIES)が共同ですすめており、2009年に打ち上げられて以降、7年以上たった現在も観測を続けています。

本シンポジウムでは、「いぶき」の概要や、これまでの観測で得られた成果を紹介します。さらに、2018年の打ち上げを目指して開発を進めている「いぶき」後継機の概要を紹介し、これらの観測成果の重要性や今後の気候変動対策への活用について議論します。

また、シンポジウム後には、「いぶき」搭載センサに関する実験やパネル展示など、研究者と直接対話できる展示・実演コーナーを開設します。



展示・実演コーナーを開設!(15:30~17:00)

提供: NIES イメージ写真

日時 **2016年9月11日(日)** 開会 13:00 (開場 12:15)

場所 **コクヨホール** (東京都港区港南1-8-35 / アクセス: JR品川駅 港南口(東口)より徒歩5分)

定員 **300名** (事前登録制) 参加費 **無料**

主催: 環境省 共催: JAXA、国立環境研究所

第1部「講演」(13:00~15:30)

JAXA 油井亀美也宇宙飛行士によるビデオメッセージ(予定)

基調講演

地球をめぐる温室効果ガス—全球規模での監視の必要性— / 三枝信子 (NIES 地球環境研究センター 副センター長)

「いぶき」の開発から打ち上げと運用、後継機の開発 / 中島正勝 (JAXA GOSAT-2プロジェクトチーム ミッションマネージャ)

「いぶき」によって明らかにされた温室効果ガスの動態 / 松永恒雄 (NIES 地球環境研究センター衛星観測研究室長)

パネルディスカッション

地球温暖化の監視・抑制における衛星の重要性

(コーディネーター) 原澤英夫 (NIES理事)

(パネリスト) 木原実 (NTV「news every.」気象キャスター / 気象予報士)

三枝信子 (NIES 地球環境研究センター 副センター長)

中島映至 (JAXA 宇宙科学研究所特任教授 / 第一宇宙技術部門 地球観測研究センター長)

松永恒雄 (NIES 地球環境研究センター衛星観測研究室長)

竹本明生 (環境省 地球環境局総務課 研究調査室長)



油井亀美也
©JAXA/GCTC



木原実

第2部「展示・実演」(15:30~17:00)

研究者との直接対話のほか、「いぶき」の観測手法の実演や模型、球体ディスプレイ、パネルの展示などを行う体験型コーナーです。

講演者プロフィール

木原実 (きはら・みのる)



1960年、7月17日、東京池上に生まれる。2才で神奈川県藤沢市に転居。神奈川県立厚木高等学校から、日本大学芸術学部演劇学科に進む。卒業後、声優、神谷明氏の事務所所属。レポーター、声優のかたわら、小劇場活動を続行。1986年から日本テレビの天気コーナーを担当する。翌1987年、『花組芝居』旗揚げ公演『ザ・隅田川』に参加。後年、神谷明氏の事務

所を辞して、劇団『花組芝居』の座員となる。現在、(有)木原実事務所 代表。2004年から、声優TARAKOを中心としたユニット「WAKU」の公演にも出演。2011年4月から「災害被害を軽減する国民運動サポーター」に参加。2013年7月から、一般財団法人防災検定協会理事に就任。2016年度から、日本防災士会 参与に就任。

《出演番組》
NTV「news every.」月曜～金曜 天気コーナー・リポーター／NTV「みんなだいすき そらジロー」ナレーション／BS日テレ「千客万来 森クミ食堂」ナレーション／BS日テレ「バクガイ通販」ナレーション
《資格》
1995年 気象予報士
2004年 防災士

原澤英夫 (はらさわ・ひでお)

NIES 理事。NIES 社会環境システム研究センター センター長を経て、2013年4月から現職。IPCC 第3次、第4次評価報告書「温暖化の影響・適応・脆弱性」の執筆に参加。

三枝信子 (さいぐさ・のぶこ)

NIES 地球環境研究センター 副センター長。産業技術総合研究所主任研究員、NIES 地球環境研究センター陸域モニタリング推進室長を経て、2013年から現職。

松永恒雄 (まつなが・つねお)

NIES 地球環境研究センター 衛星観測研究室 室長／衛星観測センター 観測センター長。通商産業省工業技術院、東京工業大学、NIES 社会環境システム研究領域等を経て、2016年から現職。

中島映至 (なかじま・てるゆき)

JAXA 宇宙科学研究所 特任教授／第一宇宙技術部門 地球観測研究センターセンター長。東京大学気候システム研究センター教授、東京大学大気海洋研究所 地球表層圏変動研究センター センター長を経て、2015年から現職。

中島正勝 (なかじま・まさかつ)

JAXA GOSAT-2プロジェクトチーム ミッションマネージャ。ADEOS-2(みどり2号)、GOSATプロジェクト等を経て、2014年から現職。

竹本明生 (たけもと・あきお)

環境省地球環境局総務課研究調査室長／内閣府宇宙開発戦略推進事務局参事官。1992年環境庁入庁。環境省水・大気環境局地下水・地盤環境室長、アジア太平洋地球変動研究ネットワーク(APN) 事務局長を経て、2014年から現職。

参加申込方法

申込・問合せ先

〈シンポジウム事務局〉地球・人間環境フォーラム

TEL:03-5825-9735 / FAX:03-5825-9737 / Eメール:climate@gef.or.jp

申込締切

2016年9月7日(水) 必着

申込用QRコードまたは、電話/FAX/電子メールにて受付

シンポジウムへのご参加には申込用QRコード(推奨)から、またはE-mailか電話、FAXでの事前申込みが必要になります。

電話、FAX、Eメールでの参加申込

件名に「地球を見守る宇宙の眼 参加申込」と明記の上、

- ①氏名(ふりがな)
 - ②E-mailアドレスまたはFAX番号
 - ③電話番号
 - ④ご職業(必須ではありません)
 - ⑤年代(10代/20代/30代/40代/50代/60代/70代/80才以上)
- をご記載の上、下記までお申込み下さい。

TEL:03-5825-9735

FAX:03-5825-9737

Eメール:climate@gef.or.jp

- 定員に達した場合のみ、ご連絡します。
- FAX申し込みの場合、FAXされた用紙をご持参下さい。
- Eメール送信の際は、開封確認通知をご利用下さい。
- 申込フォームの場合、自動返信メールを携帯電話等でご持参下さい。
- ご記入いただきました個人情報、今後、同種のご案内に限って活用させていただくことがあります。

申込用QRコードでの参加申込

右のQRコードまたは <https://business.form-mailer.jp/fms/e7bd179d59906> から申込フォームにアクセスして、必須項目を入力してください。学校など団体でのお申し込み(10名以上)はお電話にて受け付けます。



コクヨホール 東京都港区港南1-8-35
(JR品川駅 港南口(東口)より徒歩5分)